

令和3年12月10日

指定管理者の指定について（練馬区立南田中図書館）

1 内容

地方自治法（昭和22年法律第67号）第244条の2第3項の規定に基づき、練馬区立南田中図書館の指定管理者をつぎのとおり指定する。

2 指定管理者

東京都文京区大塚三丁目1番1号

株式会社 図書館流通センター

代表取締役 細川博史

3 指定の期間

令和4年4月1日から令和9年3月31日まで（5年間）

4 選定の経過

令和3年4月16日	第1回指定管理者選定小委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審議） （モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価）
5月18日	令和3年度第1回指定管理者選定委員会 （業務の範囲、利用料金制の採否、選定の対象とする団体、団体を特定する理由、評価項目・評価基準、指定の期間の審議結果の報告） （モニタリングチェックシートに基づく最終総合評価） （現在の指定管理者を次期の指定管理者の選定対象団体として特定）
6月30日	第2回指定管理者選定小委員会

	(企画提案書作成要項の審議)
7月12日	企画提案書作成要項配付・説明(団体を特定して実施)
8月13日	申請書類受付
8月16日	経営診断委託
9月11日	第3回指定管理者選定小委員会 (プレゼンテーションおよびヒアリングの実施) (申請団体の評価、採点)
11月4日	令和3年度第2回指定管理者選定委員会 (申請団体の審査、指定管理者候補の決定)
12月10日	令和3年第四回練馬区議会定例会 (指定管理者指定議案議決)

5 選定の理由

選定に当たっては、申請団体の企画提案書、プレゼンテーションの内容、経営診断結果その他提出書類等をもとに評価した結果、これまでの施設運営で培ったノウハウを生かした安定的な施設運営が期待できること、また、これまでの運営経験を生かした新しい学校支援の取組が期待できること等の理由により、株式会社図書館流通センターが練馬区立南田中図書館を運営するにふさわしいと判断した。評価項目ごとの評価内容(主な提案の内容、評価した点等)はつぎのとおりである。(審査結果は、別表のとおり)

なお、指定管理者選定委員会および指定管理者選定小委員会では、有識者委員を加えて評価を行った。

【団体審査】

安定性・継続性

利益を上げる力および事業効率性については平均的であり、資金力と経営の安全性が高い。また、借入金の返済能力は優れており、安定した経営が可能である。

当該施設の運営実績

開館10周年を記念して、敷地内の小学校の体育館での大規模な人形劇の公演や100冊の本を読むことに挑戦する読書イベント等、様々な記念の周年事業を開催し、図書館を広く周知し多数の参加につながった。

個人情報保護、情報セキュリティおよび情報公開に関する規程を整備し、適正に運

用している。また、個人情報の取扱いに関するチェックリストの活用や、社内監査チームによる個人情報監査を年1回実施する等、個人情報の保護に積極的に取り組んでいる。

労働関係法令に基づき、給与規程、就業規則等を定め、適正に運用している。また、子育て支援制度の整備や社内相談窓口の設置等、働きやすい職場環境づくりに継続して取り組んでいる。

利用者等への対応として、苦情やトラブルへの対応については、苦情発生から解決までの体制を整備するとともに、館内巡回の実施、館内ミーティングや区内指定管理館合同のミーティングによる情報共有を行うことで、苦情やトラブルの未然防止に努めている。

【提案審査】

施設運営体制

練馬区立図書館ビジョンを踏まえ、区民や地域が抱える課題解決に向けて、区民と協働する地域に根差し利用される図書館を目指すとしている。また、コロナ禍の影響で変化する図書館の役割や期待されるサービスを分析し、新たな図書館サービスの形を模索していくとしており、評価できる。

意見箱の設置や利用者アンケートの実施等に加え、図書館を利用していない方を対象とした未利用者アンケートを実施して、利用者および未利用者のニーズを把握し、更なる図書館サービスの向上と利用者のすそ野を広げる提案があり、評価できる。

スタッフに対する教育・研修体制について、研修専門部署を設け、それぞれがステップアップしながら業務を遂行できるよう、入社時から段階を踏んで研修を受講できる体制を整備しており、評価できる。

新型コロナウイルス感染症拡大防止の取組として、本社において新型コロナウイルス感染症対策本部を設置し、全国の図書館での対応事例等の情報の集約・発信や対策会議の開催を行っている。また、感染や感染の疑いが発生した場合の対応フローを定め、感染発生時の連絡・対応を遅滞なく、かつ、漏れなく進められる体制を整備するとしており、評価できる。

運営経験を生かした取組

隣接する小学校への授業支援や、「図書館を使った調べる学習コンクール」に関連した図書館での調べ学習講座等、図書館資料を活用した子どもたちの学びを支援する取

組を継続するとしており、評価できる。

図書館の使い方等を学ぶオリエンテーション、見学会の実施や中学生の職場体験の受入れ等、近隣の学校と連携した図書館を身近に感じてもらうための体験事業を引き続き実施するとともに、今後は、12年間の学校支援業務で培った経験を生かし、教育環境の変化に対応した新たな学校支援を提案するとしており、評価できる。

施設の維持管理・安全性への配慮

毎日の館内巡回時に、目視点検を行うほか、施設管理委託業者と施設管理定例会・点検巡回を実施し、保守・点検業務の報告書を確認するとともに、施設の不具合や今後のメンテナンスの対応を検討する等、施設の安全性への配慮に継続して取り組むとしている。

また、全国の受託館で発生した自然災害や人的トラブルの事例をもとに危機管理マニュアルを制定し活用する等、利用者およびスタッフの安全確保についての迅速な対応が期待でき、評価できる。

効率的な管理運営

業務内容を踏まえた、適切な人員配置計画となっている。また、柔軟なシフト編成によるスタッフのマルチスキル化やシフト事例の蓄積・共有を推進し、効率的な人員配置を実現するとしており、区の求める基準を満たしている。

施設特性に応じた提案

住宅街の中にあるご近所図書館としての利点を生かし、ライフプランニングやガン予防の専門講師を招き、暮らしに役立つテーマで開催する「暮らしの講座」や、子育てに悩む親同士が気楽に相談できる場としての「子育て交流会」を継続するとしており、子育て世代をはじめとした多世代の来館を促すことにつなげることが期待でき、評価できる。

図書館資料の管理について、環境問題を身近に感じられるよう自然環境や環境問題を扱った文学作品の収集に力を入れる等、館の特徴である環境コーナーの充実に取り組むとしている。

地域への貢献

スタッフ採用については、区民雇用の促進に努めることとし、区民雇用率については、65パーセント以上を目標としている。また、業務の再委託、施設修繕や消耗品の購入等は区内事業者を積極的に活用するとしている。さらに、区内の障害者就労支援

施設と連携して雇用促進に努める等、障害者支援の提案があり、評価できる。

地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携事業として、若者自立支援施設と連携し、利用者の就労体験場所として図書館での受入れを行う新たな提案があり、評価できる。また、図書館スタッフとボランティアとの意見交換会や合同研修会の開催等、ボランティアとの協働・連携を推進する提案があり、評価できる。

別表

指定管理者（株式会社図書館流通センター）選定の審査結果（練馬区立南田中図書館）

	評価項目	評価基準	配点	得点
団体 審査	1 安定性・継続性	利益を上げる力の有無 事業効率の状況 資金力の有無 借入金の返済能力の有無 経営の安全性	5点	4点
	2 当該施設の 運営実績	当該施設の状況および施設での取組内容・取組の成果 利用者等への対応	15点	12点
提案 審査	3 施設運営体制	施設の設置目的・現状を踏まえた管理・運営の基本的な考え方 現在のサービス水準の維持および向上のための提案内容 利用者ニーズの把握とニーズを反映させるための取組 職員に対する教育、研修体制 新型コロナウイルス感染症拡大防止のための取組	50点	40点
	4 運営経験を 生かした 取組	当該施設の指定管理者として培ったノウハウを 生かした今後の取組	40点	32点
	5 施設の維持管 理・ 安全性への配慮	日常的な点検体制 災害その他緊急時の危機管理体制 管理上の不具合や問題の区への報告体制	20点	16点
	6 効率的な管理 運営	効率的・効果的な人員配置 再委託の範囲の妥当性 事業計画と収支計画の妥当性 その他効率的・効果的な施設運営に係る提案 提案金額の妥当性	20点	12点
	7 施設特性に応 じた評価項目	館、地域や利用者の特性に応じた事業の提案内容 図書館事業の利用促進につながる提案内容 図書館資料の管理に関する提案内容	20点	16点
	8 地域への貢献	区民雇用の促進（非常勤・臨時職員を含む。） 再委託における区内事業者の活用・物品の区内事業者 からの調達 地域、関係機関、ボランティア等との協働・連携の推進	30点	24点
合 計			200点	156点